

学年	教科名	科目名	単位数	対象コース
2	数学	数学 C	2	GS
教科書・副教材		NEXT 数学 C(数研出版)、新課程 教科書傍用 サクシード数学Ⅱ+B+C、Ⅲ+C(数研出版)		

科目の目標			
●科目について これまでに学習した数学の内容をもとに、新しい数学的な表現の方法を学び、これらを用いて数学の活用を考えたり、数学的な考え方に基づいて物事を判断できる力を身につける科目であり、「ベクトル」「複素数平面」「2次曲線と極座標」を取り扱います。特にベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しながら、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈・表現・処理したりする技能を身に着けることを目標としていきます。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	単元テスト 定期考査	単元テスト 定期考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 リフレクション

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1 学 期	第1章平面上のベクトル		確認テスト(単元テスト)
	第1節ベクトルとその演算	8	定期考査
	第2節ベクトルと平面図形	7	ワークシート
	第2章空間ベクトル(空間の点～ベクトルの内積)	9	リフレクション など
2 学 期	第2章空間ベクトル(ベクトルの図形への応用、座標空間における)	6	確認テスト(単元テスト)
	第3章複素数平面	9	定期考査
	第4章式と曲線(第1節:放物線・楕円・双曲線・2次曲線の平行移動)	9	ワークシート リフレクション など
3 学 期	第4章第1節(2次曲線と直線・2次曲線と離心率)	6	確認テスト(単元テスト)
	第4章第2節(媒介変数表示と極座標)	8	定期考査 ワークシート リフレクション など